



教育センター・育成センター所報

GALILEI



国語科教育・図書館教育講座

「心に届く 話し方・声とは・・・」



第51回 柏崎刈羽地区児童生徒科学研究発表会



子ども・若者育成支援強調月間 啓発活動



防災・安全教育、ともに歩む “地域の学校” づくり 講座

CONTENTS

- 巻頭言 P 1
 - ★変わらない支援
 - 教育センター 副所長(教育相談担当) 中村 正彦
- 教育センターだより P 2
 - ★アクセス(教育研究班) P 2
 - ★プロジェクト K(科学技術教育センター) P 6
 - ★心の窓(教育相談係) P 10
- 青少年育成センター通信 P 13
- 主な行事のご案内 P 15
- 所員随想「つれづれ」 P 15
 - ★池上 彰著「学び続ける力」を読んで
ふれあいルーム指導員 大橋 浩子



第36回 中高生と大人の座談会

平成28年度 第3号(秋号)

柏崎市立教育センター 柏崎市青少年育成センター



変わらない支援

柏崎市立教育センター
副所長(教育相談担当) 中村 正彦

今年度、子育て支援センターから教育センター教育相談係に配属になりました。今までは、主な対象が乳幼児でしたが、これからは、児童生徒が対象となります。よろしくお願いいたします。

箱根駅伝と言えば、もともとは関東地区の正月の風物詩という印象でしたが、今や全国的な一大イベントになりました。選手を紹介した雑誌が本屋に並ぶようにもなりました。私も大学で“長距離部”に籍を置きましたが、入学したころは箱根駅伝のことはほとんど知りませんでした（大学では、陸上競技部というより“長距離ブロック”などと言います）。しかし、内容は、「(箱根)駅伝部」と言った方がさらに合っているくらいで、今も昔も、関東にある長距離部は、箱根のためにある、と言っても過言ではないのです。

これは、ひとえにマスコミによるものだろうと思います。それは、「予選会」（前年シード順位に入れなかった大学が集まってタイムトライアルを行って出場権を争う）の盛り上がりからも言えます。以前は、人知れず埋め立て地のコースで細々と行っていましたが、現在は、テレビなどでも大きく取り上げられ、日本で箱根駅伝を知らない人はいない、と言っても言い過ぎではないでしょう。中には、“神”などと呼ばれてヒーローのようにになっている選手もいます。

しかし、本質は以前とあまり変わっていないと思っています。地方から集まった若者が、合宿所に入り、先輩・後輩という人間関係の中で生活し、毎日のハードな練習をほとんど休みなく1年間繰り返します（運動クラブはほとんどそうですが）。その中の一握り（10人）が、襷を下げて走り、繋いでいくことが出来るのです。そういう私は、蚊帳の外の間人間でしたが…。

教育センターも時代とともに変化を遂げてきたようです。平成元年に旧柏崎実践女学校跡に「教育文化センター」として開設され、平成13年に「教育センター」に名称が変更、若葉町の情報開発学院跡に移設されました。そして、平成24年、産業大学B号館へ移転し、現在に至っています。所管も生涯学習課から学校教育課、現在は独立に至っています。

「教育相談」は、相談という方法を主として子どもや保護者を支援してきました。開設当初から「不登校」への支援が大切な取組としてありました。これは現在も変わりはありません。時間の経過とともに、社会環境や家庭生活の形態が変化し、子どもたちを取り巻く状況も変わってきました。しかし、この取り組みは、変わらず続いています。時が流れても、相談や支援の本質は変わることがないものだと思います。

社会の変化に敏感でありながら、子どもとその保護者への支援を以前と変わらないスタンスでしていけたらと思います。

■ スクールオフィス情報

小学校の就学予定者名簿を配布しました

例年より早く、9月に小学校の就学予定者名簿を配布しました。そのままスクールオフィスに登録できるように加工したデータでお送りしていますので、「名簿 CSV アップロード登録」の画面から一括で登録していただけます。ただし、「クラス構成の設定」画面で、未就学クラスが最低 1 クラス設定されている必要があります。60 人までは 1 クラスで登録可能ですが、それ以上の場合 2 クラスが必要です。教育センターで加工する際も、60 人を超える場合は 2 クラスに分けてデータを作成しています。就学予定者は当年度の「未就学」クラスに登録されますので、変更等は「未就学」クラスに対して行っていただくこととなります。配布時は仮のクラス分けになっていますので、適宜調整してください。なお、「未就学」クラスの情報も、年度更新により、新年度の 1 年生として自動的に登録されます。

中学校の就学予定者名簿は 11 月上旬ごろ配布の予定ですが、行政側からのデータ項目は限定的ですので、学校区内の小中学校から卒業生となる学年のデータを CSV 形式で用意してもらい、それを使用する方が効率的かもしれません。(小学校からのデータをそのまま登録することはできません。学年、クラス、出席番号、入校日、地区名など必要な項目の修正や、ID、パスワード、クラブ活動等の情報のクリアが必要です。)

クラス基本構成の設定・学年、クラス構成
学校基本情報管理 > クラス基本構成の設定・学年、クラス構成

2015年度の学年、クラス編成を行います。 [保存] [リセット]

学年	6	年制
1学年	4	クラス
2学年	4	クラス
3学年	4	クラス
4学年	4	クラス
5学年	4	クラス
6学年	4	クラス
特A	1	クラス
特B	2	クラス
特C	0	クラス
未就学	2	クラス

最低1クラスが必要です

仮年度更新は実施しましたか？

スクールオフィスでは、次年度の準備のために「仮年度更新」機能が用意されています。これは、次年度の行事予定や年間校時などを準備しておく領域を作成するものです。仮年度更新を行わない場合、新年度になってから全ての登録を行わなければなりません。仮年度更新を行っておくことで、事前に登録しておくことができます。年度末には「年度更新」を行う必要がありますが、仮年度に登録しておいた行事などの情報は、年度更新を行うことで新年度の情報として引き継ぐことができます。

スクールオフィス 2.0 学校基本情報管理

教職員管理

- ・名簿CSVアップロード登録
- ・名簿リスト登録
- ・名簿個別登録
- ・名簿抹消
- ・名簿作成I
- ・名簿作成II
- ・カード発行
- ・写真アップロード登録
- ・所属グループ(校内)登録
- ・担当分掌の設定

年度更新

- ・仮年度更新
- ・年度更新

仮年度更新は
これを選択

2016年度 スケジュール

2016/10/1

学校基本情報

成績管理

時数管理

文書管理

備品管理

スケジュール

学校行事

動静

来校者

日直

「仮年度更新」が行われていない表示

2016年度 スケジュール

2016/10/11

学校基本情報

成績管理

時数管理

文書管理

備品管理

スケジュール

月予定

予定

学校行事

動静

来校者

日直

「仮年度更新」が行われている表示、ここから「仮 2017 年度」を選択して、仮年度の環境に切り替えます。

仮2017年度

2016年度

2015年度

2014年度

2013年度

2012年度

2011年度

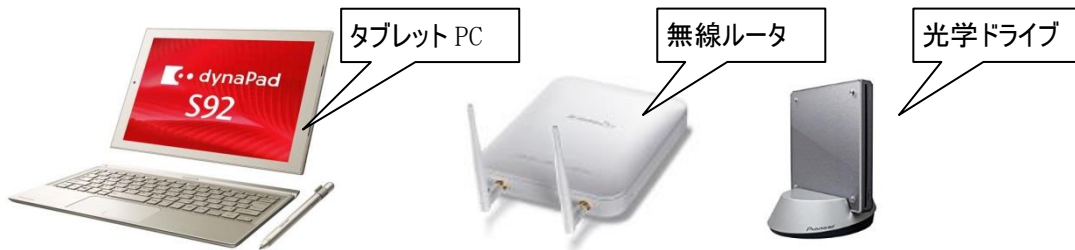
2010年度

2009年度

■ 今年度の整備機器のご案内

今年度、更新される機器

◆小学校 PC 教室用 PC



- ・小学校の PC 教室のノート PC 教室を、12 インチのタブレット PC に置き換えます。タブレットはデジタルペン内蔵で、専用のペンによる操作・入力が可能です。キーボード、マウスも整備されます。整備台数は現在整備されている台数に準じます。
- ・光学ドライブが内蔵されないため無線対応の BD ドライブ 1 台、有線 LAN ポートが内蔵されないため 20 台につき 1 台の無線ルータを整備します。
- ・OS は Windows10 になります。新たに導入するソフトウェアとして、タブレットを活用するための「ジャストスマイルクラス R.2」を予定しています。ワープロや発表などの基本的な機能の他、授業支援ツール、ドリルやシミュレーション教材、協働学習を支援する機能などが用意されています。なお、従来通りマイクロソフトオフィスも利用できます。
- ・プリンターは A4 インクジェット複合機 2 台、A3 カラーレーザー 1 台を基本として整備します。



◆教室用プロジェクターワゴンの機器更新



- ・平成 21 年度にワゴンとセットで整備したプロジェクターを短焦点(電子黒板機能なし)タイプの機種に更新します。明るさは 3000 から 3400 ルーメンで若干明るくなり、スピーカーの音量が大きくなりますので、外部スピーカーは不要でしょう。HDMI 端子もありますので、「ぼうけんくん」なども利用できます。なお、短焦点ですので、黒板への投影は今までのようにワゴンに載せた状態での利用は適しません。ワゴンから出し、教卓の上に置いて利用するくらいがちょうどよいでしょう。
- ・ワゴン用ノート PC も更新しますが、実物投影機は更新されませんので、昨年度整備した「ぼうけんくん」を利用してください。既存の実物投影機は既にメーカーのサポートも切れており、故障した場合、修理ができません。



プロジェクト R

柏崎刈羽地区科学技術教育センターだより

【研修会・事業の様子】

○ 宿泊野外研修会「月山・加茂水族館」 7月30日(土)～31日(日)

◇講師 瑞穂中学校校長 岸 勝巳 様

1日目は雷と大雨により月山頂上までは行けませんでした。植物が咲き乱れ、天気さえよければ見事な花畑でした。宿に到着後、観察できなかった植物を、岸先生から映像を交えて説明いただきました。2日目は羽黒山の階段を上りながら文化や歴史に親しみ、加茂水族館で様々なクラゲを観察して、無事研修を終えました。



○ 上越地区合同野外研修会「谷根川溪流ウォーク」 8月3日(水)

◇講師 柏崎・夢の森公園 中村 拓郎 様・渡邊 朝子 様

冷たい川の中を歩きながら、谷根の自然を堪能しました。急流の岩場をよじ登ったり、途中の淵では飛び込みをしたりしながら、子どもたちを連れてきたときの安全面や観察ポイントなどを確認することができました。



○ 望遠鏡技能習得講座 8月4日(木)

望遠鏡の操作に慣れ、天体への興味を高めてほしい思いから研修会を開催しました。実際に望遠鏡に触れ、ファインダーを調節したり、遠景を視野に入れたりする実習を行い、屈折式・反射式それぞれの望遠鏡を操作できるようになりました。



○ 星空観察会 8月11日(木・祝)

◇講師 柏崎天文同好会 松村 昌明 様
南中学校校長 山田 智 様

80人を超える参加者を2グループに分け、実天観察や宇宙の話を楽しみました。晴天に恵まれ、月や火星、土星、木星、アルビレオの二重星などを観察することができました。観察会後には流星もいくつか確認できました。



○ 小3「こん虫を調べよう」 8月22日(月)

◇講師 上越市立春日小学校教諭 廣田 万博 様

実物(標本)を観察しながら昆虫のからだのつくりについて学ぶことで、実物に触れる大切さを感じることができました。また、昆虫のからだのつくりを再確認する教材として、紙や粘土で模型作りをしました。



○ 地層観察会 8月23日(火)

◇講師 瑞穂中学校校長 岸 勝巳 様

石地から米山まで柏崎の海岸に出ている露頭を中心に観察しました。それぞれの露頭のつながりや堆積時の環境を想像しながら学ぶことができました。

また、海岸で採取した砂鉄(酸化鉄)から鉄を取り出す反応(テルミット



反応)も実習しました。

○ 秋の植物観察会 9月13日(火) 八石山周辺にて

◇講師 柏崎植物研究グループ 阿部 文夫 様

登山道を登りながら、周辺の植物について名前の由来が分かるように丁寧にご説明いただきました。参加者から「遠足などで子どもたちを引率してきたときに即使える内容です。」と、好評をいただきました。



○ プラネタリウムで授業を！(小6)② 9月15日(木) 博物館にて

◇講師 北条小学校教諭 山口 千佳子 様
博物館 佐藤 俊男 学芸員

プラネタリウムを活用しながら「月と太陽」の模擬授業を山口先生から行っていただきました。プラネタリウムは、実天では観察しきれない部分を補ってくれるという利点があります。授業で活用してみませんか？



○ 小3「ゴムのはたらき・風のはたらき」 9月20日(火)

風の受け方や、ゴムの強さと走る距離の関係についてのポイントを研修しました。また、教科書に掲載されている風車や車のほか、小3では3種類以上のものづくりをすることになっていますので、ものづくりとして扱うことができる教材を紹介しました。



○ プラネタリウム技能習得講座② 9月28日(水) 博物館にて

◇講師 博物館 佐藤 俊男 学芸員

プラネタリウムを操作しながら、6年生の授業を行うための研修をしました。操作盤は一見複雑ですが、必要な操作さえ覚えれば十分です。教師が操作しながら、授業を進めることができたなら素敵だと思いませんか？



○ プラネタリウムで授業を！(中3)③ 10月14日(金) 博物館にて

◇講師 博物館 佐藤 俊男 学芸員

上記研修同様にプラネタリウムを操作しながら、授業を行うための研修をしました。参加者が意見交換をすることで、中学校でのより効果的な活用方法を検討することができました。



※10月は上記研修の他に




10月18日(火)	「秋遊び」	講師	柏崎・夢の森公園	中村 拓郎 様
10月19日(水)	中2「電流と磁界」	講師	第二中学校教諭	紙谷 武史 様
			東中学校教諭	近藤 悠司 様

10月21日(金) 小5「電流のはたらき」

の3講座を行いました。詳細は次号でご紹介します。



○ 科学研究応援プロジェクト

「科学研究相談会」	「参考作品展」	「名前調べ会」
8月5日(金)	8月16日(火)～20日(土)	8月20日(土)
◇講師 阿部 文夫 様(柏崎植物研究G) 佐藤 俊男 学芸員(博物館) ◇会場 教育センター	◇会場 ソフィアセンター ※昨年度の科学作品展で特別賞を受賞した児童生徒の作品も、一部展示しました。	◇講師 相澤 陽一 様(柏崎植物研究G) 河合 三喜雄 様(同上) 井上 宗温 様(柏崎貝類同好会) 佐藤 俊男 学芸員(博物館) ◇会場 ソフィアセンター
今年度初の試みで開催した相談会です。平日にもかかわらず、30名近くの来場者が相談に訪れ、標本の同定や研究の相談など、講師からアドバイスをもらっていました。	都合により、例年とは会場が変更になりましたが、多くの来場者が訪れ、各作品を熱心に見る様子が見られました。	植物・海藻・貝・昆虫標本などの名前の同定に多くの親子が来場しました。講師のアドバイスを熱心に聞き、一生懸命メモする姿も見られました。
		

第51回柏崎刈羽地区児童生徒科学作品展

- ◇期 日 9月9日(金)～19日(月・祝)
◇会 場 博物館

9月8日(木)の審査会を経て、標記の会が博物館にて開催されました。今年も各校から力作が出品され、近年では最多の170作品を展示しました。また、23日(金)には博物館にて特別賞および金賞の表彰式が行われました。

出品数などは以下の通りです。

- 出品校数：19校 ○作品数：170作品
○金賞(特別賞含む)：18作品 銀賞：22作品 優良賞：16作品 努力賞：114作品



第51回柏崎刈羽地区児童生徒科学研究発表会

- ◇期 日 10月3日(月)
◇会 場 柏崎市文化会館 アルフォーレ

今年は昨年度を上回る16校、41作品(参加者51人)の出品がありました。小学校中学年2部門、高学年3部門、中学校1部門の6会場に分かれ、それぞれの部門で児童生徒が堂々と発表しました。興味深い発表が多く、視聴者のみならず指導者の先生方も熱心に質問している場面が多々見られました。

児童生徒の事前指導や、当日指導及び運営にご尽力くださいました先生方、ありがとうございました。なお、詳細な結果は各校にお送りした通りです。



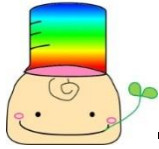
【要請授業など】

- 海の活動（大洲小）
- 放射線教育（荒浜小）
- 科学クラブ（大洲小・剣野小・新道小）
- 地層観察（三中校区小学校・比角小・柏崎小）
- 川の観察（北条小）

海の活動(大洲小)



放射線学習(荒浜小)



今期もたくさんの要請をいただきました。都合のつく限り、伺いますので、いつでも声をかけてください。
(ただし、協力員は午後のみので要請ですので、お気を付けてください。)

事業のご案内 11月～3月

○科学研究おうえんプロジェクト～「海の小さな貝の観察会」～

- ◇日時 11月3日(木・祝)
- ◇会場 教育センター・博物館・高浜海岸
- ◇講師 柏崎貝類同好会会員
博物館 佐藤 俊男 学芸員



詳細はポスター・チラシを御確認ください。

ご協力・ご来場、お待ちしております！

○青少年のための科学の祭典 柏崎刈羽大会

- ◇日時 11月26日(土)
- ◇会場 新潟工科大学

研修会のご案内 11月～3月

○中1「身の回りの現象」

- ◇日時 11月14日(月) 15:00～16:45
- ◇講師 第二中学校教諭 紙谷 武史 様
東中学校教諭 近藤 悠司 様

○理科教育講演会

- ◇日時 11月16日(水) 15:00～16:45
- ◇講師 新潟市立白新中学校教諭 山内 伸二 様

○上越地区教職員理科研究発表会

- ◇日時 11月22日(火) 9:40～16:45
- ◇会場 上越市教育プラザ

○上越の理科を語る会

- ◇日時 12月3日(土)
- ◇会場 高陽荘(上越市)

○小4「もののあたたまり方」

- ◇日時 1月18日(水) 15:00～16:45

○野鳥観察会

- ◇日時 1月24日(火) 14:00～16:00
- ◇会場 西山町 長嶺大池
- ◇講師 日本野鳥の会会員 小林 成光 様

○柏崎高校普通科理数コース課題研究発表会

- ◇日時 2月3日(金)
- ◇会場 柏崎市文化会館 アルフォーレ

詳細は研修講座一覧をご覧ください。

年度途中の申し込みも可能です。都合がつかう方はどしどしご参加を！

TEL: 23-1168

E-mail: kec@kenet.ed.jp

心の窓

No. 202

〒945-1355

柏崎市大字軽井川 4803-2

TEL 0257(23)4591 (代表)

FAX 0257 (23) 4610

E-mail soudan@kenet.ed.jp

いろいろ体験グループ



今年度も『いろいろ体験グループ』がスタートしています。これは当センターで行っている、発達障がい特性のある児童・生徒を対象とした「ソーシャルスキル・トレーニング（SST）」です。

ソーシャルスキルトレーニングとは、人が社会で生きていくのに必要な技術を身につける練習のことです。多くの子どもはトレーニングをしなくても、周りの人の行動を見て社会で生活するために必要な行動を自然に身につけていきます。あいさつをする、人の話を聞く、自分の気持ちや考えを伝える、素直に謝るなど学校生活や集団生活の中で他者と関わる上で必要な技術です。しかし、発達障がい特性のある子どもたちは、日常生活の中で自然に身につけることが難しく、そのために困難を抱えてしまうことも多く見られます。そこで少しでも日常生活を送りやすくするためのスキルを習得する場として、当センターでは『いろいろ体験グループ』を開催しています。

『いろいろ体験グループ』は、前期と後期にわかれており、10月から後期がスタートしています。小学生グループ3つ（小学生女子・低学年男子・高学年男子）と中学生グループ2つの構成となっています。

子どもたちが意欲をもって参加できるように、少しがんばれば到達できる小さな目標の階段を設定し、達成できたらほめてあげます。ほめられたことで自己肯定感が高まり、また次の目標に向かってがんばることができます。学校生活では、失敗体験や不安の多い子どもたちも少人数のグループの中で楽しんで人と関わり、達成感や成功体験を積み重ねていくことで自信がついていきます。

各期の終了後には保護者会を実施し、保護者の方から家庭、学校での様子をお聞きしたり、各グループのリーダーからは活動中の子どもたちのがんばっている様子をお伝えし、家庭でもほめてもらうようお願いしています。お互いに困っていることなど共通の課題について一緒に考える場ともなり、子どもたちと同じように保護者同士もつながっていくことで安心されるようです。

子どもたちは回を重ねるごとに表情が柔らかくなり、毎月のグループ活動を楽しみにしてくれている様子が感じられます。『いろいろ体験グループ』では、これからも仲間と一緒に楽しみながら高め合える“居場所”作りとともに、子どもたちがより安心して楽しく学校生活や家庭生活を送ることができるよう応援していきたいと思ひます。

(文責 相談員 須藤 直子)



☆☆☆ふれあいルームより☆☆☆

～貴重な体験～《妙高宿泊体験》

ふれあいルームの一大イベント「妙高宿泊体験」です。今年度は3人の参加で、国立妙高青少年自然の家までバスに揺られて行ってきました。

一泊二日の宿泊体験。「自然の中での体験を通し、自己を振り返り、集団行動の大切さを学ぶ」という目標で実施しました。

センターへ元気に集合した子どもたちは、職員に「行ってきます」とあいさつをして、バスに乗車。緊張から前日よく眠れなかったせいか、バスの中はとても静かでした。

妙高青少年自然の家に着後、部屋に荷物を運び、所内での生活の仕方等について確認しました。

昼食はバイキングの食事ということで、たくさんのメニューから各自が思い思いに選んで食べました。



午後からは、金巻さん（きんちゃん）を講師に『妙高アドベンチャープログラム』を行いました。みんなの気持ちの一つにして活動することが大切なプログラムです。

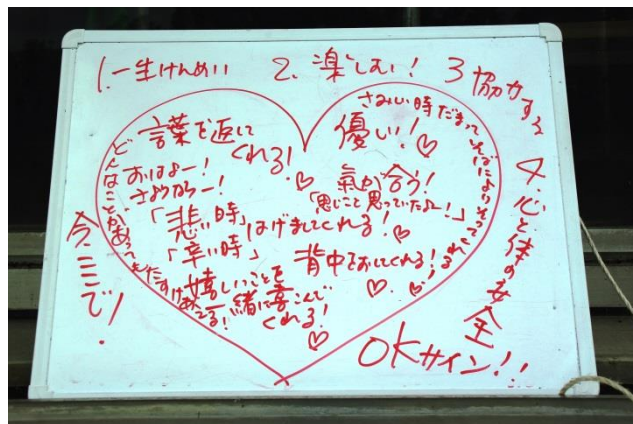
最初は、緊張していた子どもたちでしたが、講師さんが一人一人に温かい言葉をかけてくださるので、子どもたちの心も体もだんだんとほぐれていきました。

かかわる活動の大切さを学び、人をサポートする仕方を学び、協力して考え、助け合うこと、信頼することの大切さについて体験を通して学ぶことができました。仲間の声に背中をたたかれ挑戦できた子、仲間を信頼して身を任せ

た子、いろいろな場面で学びがたくさんありました。

夕食後は、『キャンドルサービス』。静かに光を放つキャンドルを見つめながら、自己を振り返ったり、ふれあいルームの仲間のよいところを発表したりしました。みんなのことをよく見ている子どもたちに感心させられました。心が温まる内容でした。

二日目は、思い出として『壁掛け』を作りました。事前に考えてきた下絵デザインをもとに製作することができました。



一人一人個性的な作品に仕上がりに、いいお土産となりました。

急に頼まれた仕事にも、しっかりと取り組むことができ、みんなが気持ちよく、さわやかに活動することができました。

家を離れ、仲間と一緒に時間を過ごし、たくさんの経験や学びができた貴重な二日間となりました。宿泊体験活動の目標を、みんなで達成でき、エネルギーもたくさん補充できました。



～柏崎を再確認～《柏崎市立博物館見学》

9月30日(金)、ふれあいルームの通級生で柏崎市立博物館へ見学に行きました。まずはプラネタリウム鑑賞です。私たちが見せていただいたのは、日本を代表する山、富士山をテーマにしたプログラムでした。半球体のスクリーンからは立体的な映像が飛び出すような感覚になりました。富士山の大自然と天空の美しい星空、そして音楽で感動しました。



プラネタリウム鑑賞を終え、常設展を観覧し、柏崎の自然や歴史について学びました。特に福浦猩々洞のコウモリの展示では、市のシンボルマークに使われていても、普段近くで見ることのない実際のコウモリの標本や展示をみんなでじっくりと見ることができました。

半日の活動でしたが、とても有意義な体験活動を行うことができました。

(ふれあいルーム指導員 神林 治男)



相談係予定



《カウンセリングルーム》

※いろいろ体験グループ (SST)

◎時間

- ・16:30~17:30 小学校A・B・Cグループ
- ・18:30~20:00 中学校①・②グループ

◎予定

【11月】

A: 4日(金) B: 11日(金) C: 18日(金)
中①: 29日(火) 中②: 30日(水)

【12月】

A: 2日(金) B: 9日(金) C: 16日(金)
中①: 21日(水) 中②: 22日(木)

【1月】

A: 6日(金) B: 13日(金) C: 20日(金)
中①: 26日(木) 中②: 27日(金)

《ふれあいルーム》

【10月】

20日(木) 陶芸教室①

【11月】

8日(火) 陶芸教室②

11日(金) ソフィアセンター

15日(火) 陶芸教室③

28日(月) ~ 30日(水)

通級生面談

【12月】

1日(木)・2日(金) 保護者面談

9日(金) そば打ち体験

13日(火) ソフィアセンター

15日(木) スケート体験①

22日(木) 後期前半通級終了

【1月】

10日(火) 後期後半通級開始

13日(金) ソフィアセンター

19日(木) スケート体験②



第36回中高生と大人の座談会 あなたの平和への想いは？ 今 あなたができること



<講師；阿部 松夫 様>

8月7日（日）、恒例の中高生と大人の座談会を実施しました。今年のテーマは、「あなたの平和への想いは？ 今 あなたができること」としました。育成委員会役員会でも中高生にはこのテーマは難しいのではないかという声がありました。しかし、この日がちょうど広島・長崎への原爆投下があった日や終戦記念日に近いこと、また、オバマアメリカ大統領が広島平和記念公園を訪れたこと、平和の祭典オリンピック・パラリンピック開催の年など、戦争や平和についての話

題が多く取り上げられた年であったことなどから、中高生にぜひ話し合ってもらいたいと思い、設定しました。

最初に元日吉小学校校長で柏崎文化協会役員の阿部松夫様から、「ただたのみます いくさ あらすな」という演題で、講演いただきました。深田信四郎さんが語り継いできた満州开拓団の悲劇と平和への願いを静かな語り口で子どもたちに話してくださいました。

『柏崎に住んでいるのに全然知らなかった。赤坂山に満州柏崎村の碑があり、戦争に大きく関わりのあることが分かった』『この講話を聴いて、戦争の話語り継いでいくことの大切さを改めて感じた。人を死に追いやる戦争はもう絶対やるべきではない』と、子どもたちは深く感じ取っていました。



そのあとのワークショップでは、「あなたにとって平和とは？」「平和のために、今 あなたができること」について、高校生の司会進行で話し合われました。

『柏崎の歴史の一部に触れることができた実りある半日でした。赤坂山に何度も訪れているにもかかわらず満州柏崎村の碑を知らなかったことや、同世代の若者たちが満州に送られていたことなど全く知らないことだったので、少し恥ずかしくなりました。教科書だけでは伝えきれない戦争での実体験を話してくれる人たちから、それを私たちが受け継いでいかなければならないと思いました。』



56名の中高生が話し合う姿を見守った育成委員は、難しいと思ったテーマに対して子どもたちがしっかり向き合い、自分の考えを発表し、他の人の意見を聞いて考えを深める様子を目の当たりにし、子どもたちの健やかな成長と世界の平和を強く願いました。

高校下校育成で新しい取組実施

青少年育成委員会では、年間を通して高校生対象の下校育成活動や早朝育成活動を柏崎駅構内及び周辺で行っています。これまでは育成委員のみの活動でしたが、この活動に高校生から参加してもらい、育成委員と共に活動できればと考えていました。高校生同士があいさつし、声を掛け合うことで防犯意識も高まり、助け合う心をもつことができるのではという考えからです。

そこで、柏崎地区の高等学校生活指導連絡協議会にお願いして各高校に働きかけていただきましたところ、この9月から高校生と生徒指導担当の先生からご協力いただけることになりました。



夕方の駅構内に高校生の元気な声が響き渡り、駅を利用する高校生・中学生・大人・そして小学生などと笑顔であいさつを交わしていました。「歩きスマホはやめよう」と書かれたポケットティッシュを配りながらの声かけでした。一緒に活動した育成委員も高校生の笑顔に元気をもらい



いつも以上に張り切って活動しました。

高校生同士のあいさつ、大人と子どものあいさつ、



大人同士のあいさつ。知らない人には声をかけづらい時代ですが、あいさつはみんなを明るくします。そのような世の中には犯罪は生まれません。あいさつは、子どもを守る大切な言葉です。これからも続けたい活動です。

11～2月の予定

11月		12月	1月	2月
日	曜	ことから	12月～2月中は街頭育成を実施しません。 育成委員はそれぞれの地区で子どもたちを見守ります。	
1	火	下校育成活動		
11	金	夜間育成活動		
14	月	昼間育成活動		

主な行事のご案内

青少年のための科学の祭典 柏崎刈羽大会（秋）

日時：11月26日(土) 9:50～15:30
会場：新潟工科大学

春の大会につづき、本年度2回目の開催です！
多くの皆様のご来場をお待ちしております！



人気の「あやしく光る びよんスライム」

理科教育講演会

日時：11月16日(水) 15:00～16:45

会場：教育センター多目的研修室

講師：新潟市立白新中学校 山内 伸二 教諭

中学校の単元で模擬授業を行います、小学校の先生方もぜひおいでください。

算数・数学 示範授業

日時：11月29日(火) 14:05～16:45

会場：枇杷島小学校

講師：筑波大学附属小学校 山本 良和 教官



所 員 随 想

池上 彰 著 「学び続ける力」 を読んで
ふれあいルーム指導員 大橋 浩子

この本は、常にわかり易い伝え方を心がけている、元NHKの池上さんらしい筆致で、体験されてきたことをベースに書かれた教養論です。学ぶことのヒントになる一冊です。

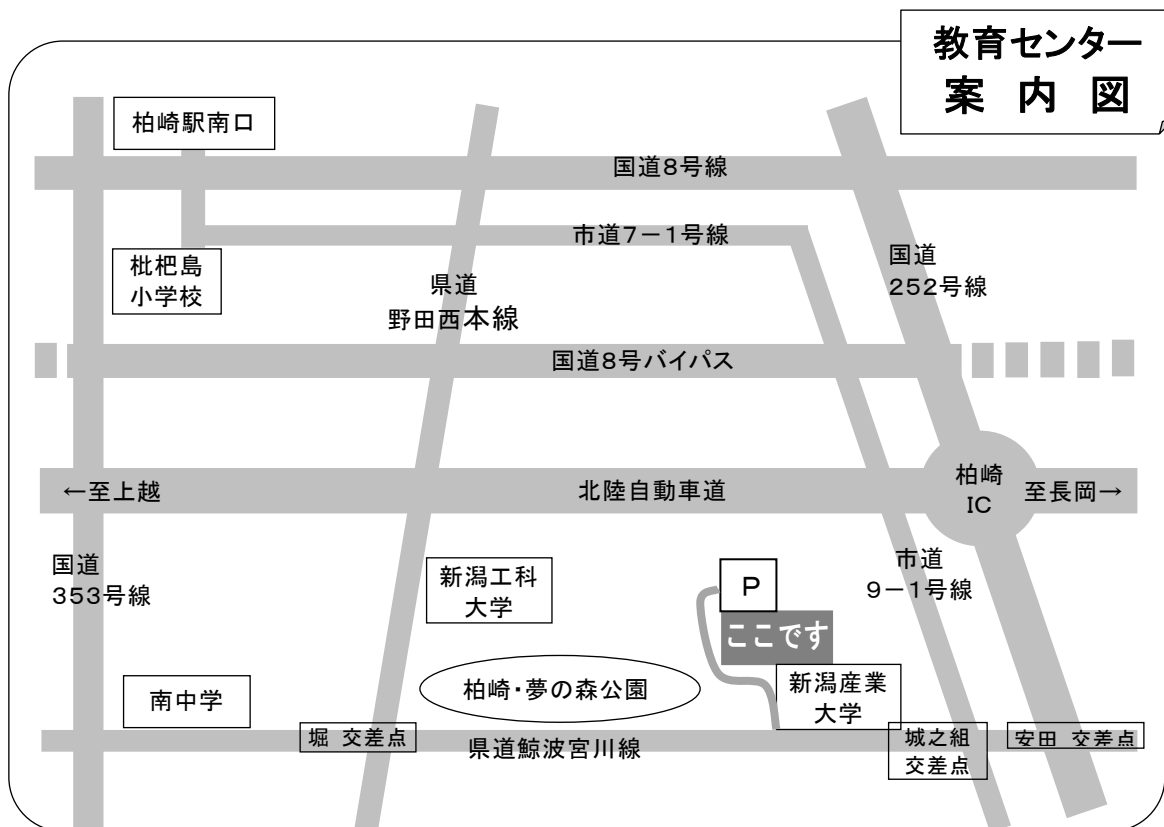
5章に分けて書かれた本書の第4章部分には「読書の楽しさ」をタイトルに、読書が大きく取り上げられていて私はそこに注目しました。

それは、私が人から趣味を問われた時に、読書と答えると知的に思われがちですが、私にとっての読書は現実逃避の色合いが濃く、胸を張って言えるものではないと感じていたからです。

その第4章の冒頭では、一生を変えた一冊としてNHKに入局するきっかけとなった「続 地方記者 朝日新聞社（絶版）」に触れ、その後には読書論として「読書とは他人が考えたことを追いかけているだけだ」とか「読書はざるで水をすくうようだ」と言い、本好きにとっては痛い言葉を投げかけながらも、読書を推奨しています。また作家の林真理子さんの提唱を引用し「いじめられたら本に逃げ込めばいい」という特質的な視点を積極的に支持しています。

読書は教養の中のほんの一部分に過ぎませんが、教養を学ぶ意味を、第5章「学ぶことは生きること」に「自分の存在が社会の中でどんな意味を持つのか、客観視できる力を身につけること」とまとめられています。

本書を読み、私は本を開いてざるで水をすくいながら、生きるための何かを身につけているのだと考え、現実逃避の後ろめたさが少し薄まるような気がしてきました。



教育センター案内図

〒945-1355 柏崎市大字軽井川4803番地2（新潟産業大学キャンパス内）
 ※路線バスは、柏崎駅南口から新潟産業大学行きをご利用ください。
 ※車でお越しの方は、新潟産業大学の正門から入り、キャンパス内では徐行をお願いします。

電子版の閲覧

イタリアの天文学者ガリレオ・ガリレイのたゆまぬ創造と検証の精神にちなみ、教育センター所報を「GALILEI」と名づけています。

インターネット(カラー)版は、柏崎市HPで「柏崎市教育情報支援システム」を検索し、この支援システムトップ画面右上の所報「GALILEI」をクリックすると過去のガリレイも閲覧できます。

- 教育センター代表TEL：0257-23-4591
- 代表FAX：0257-23-4610
- E-mail：k-center@city.kashiwazaki.lg.jp
- 教育研究班・情報教育TEL：0257-23-1168
- E-mail：kec@kenet.ed.jp
- 教育研究班（科学技術教育）TEL：0257-20-0212
- E-mail：kagaku@kenet.ed.jp
- 教育相談班（カウンセリングルーム）TEL：0257-32-3397
- E-mail：soudan@kenet.ed.jp
- 教育相談班（いじめ不登校電話相談）
- TEL：0257-22-4115
- 青少年育成センターTEL：0257-20-7601
- E-mail：ikusei@city.kashiwazaki.lg.jp
- 教育情報支援システム URL：http://kedu.kenet.ed.jp

